

* 戻ってきた AFU カメラの復元

ソ連製人工衛星追跡望遠鏡 AFU カメラはアーカイブ室新聞 219 号でお知らせしたように上田市にある財団法人上田市地域振興事業団「上田創造館」の世界天文年 2009 の企画展示「望遠鏡が拓いた宇宙 400 年展」に貸し出されていた。展示が終った 8 月末には国立天文台に返却されていたのだが、輸送のため分解されたままであった。国立天文台の技術系職員が実際の望遠鏡に触れる機会が少なくなった現状から、天文台の技術系職員の望遠鏡技術の継承のため、広く天文台に呼びかけ、天文台の技術系職員の有志で復元することを考えた。この考えに賛同してくれた技術主幹、天文情報センター長の呼びかけで数人の技術者が集まり、復元工事が 10 月 15 日に行われた。集まった中に、ソ連が堂平観測所に AFU カメラを持ち込んだとき、組上げに携わった大島君がいた。その大島君を中心に 2 時間ほどで元の姿に復元された（写真 1）。



写真 1 復元され、再び展示された AFU カメラ

技術主幹の呼びかけもあったことから、もう少し人数が集まる事を、そして若い技術者が集まる事を期待したが、天文台の忙しく働いている現状ではしかたがない。復元組上げ作業が終了した記念撮影（写真2）である。

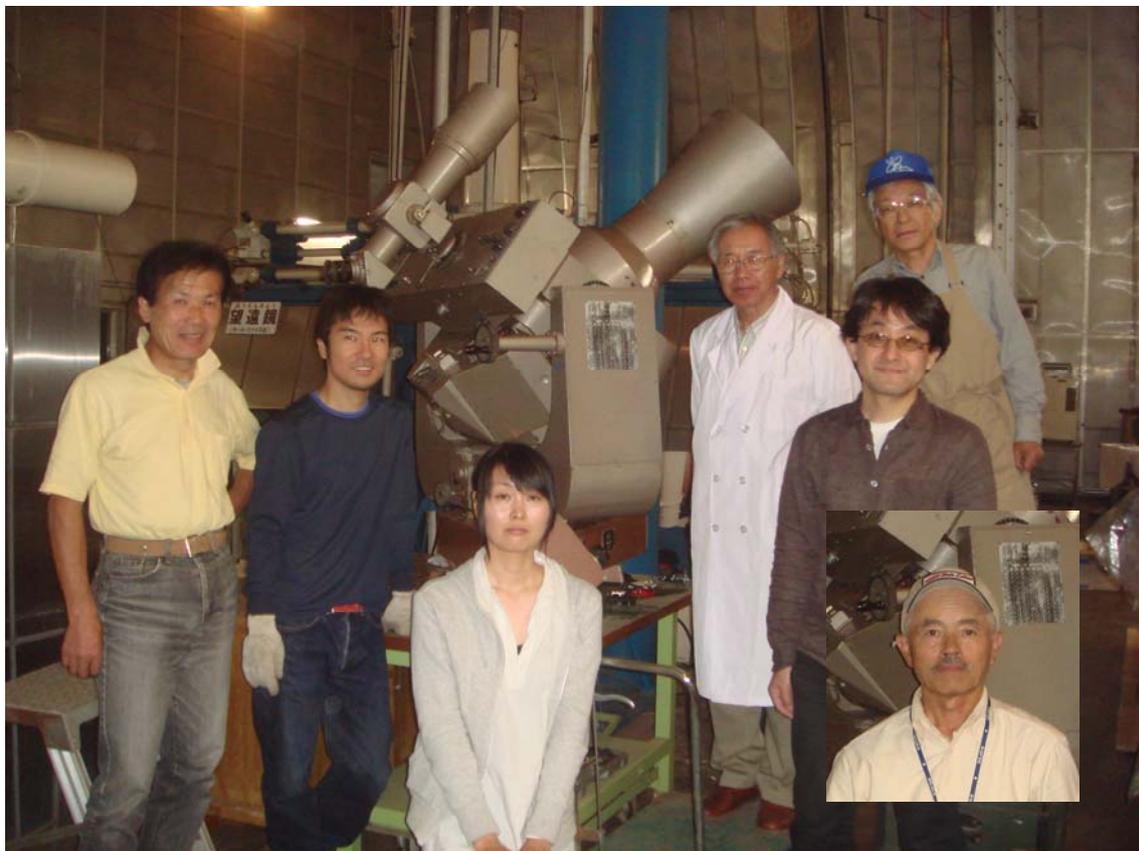


写真2 復元された AFU カメラの前で記念撮影